

# 第33回「<sup>かずのう</sup>數納賞」公募要領

主催 財団法人児童健全育成推進財団  
後援 厚生労働省

## < 數納賞 >

「數納賞」は、児童健全育成に関する優れた実践報告に対し褒章を行うものです。

この賞は、朝日生命厚生事業団が故數納清氏（当時 朝日生命会長）の寄付金を基金として制定し、昭和51年から毎年実施されてきたものです。当該事業団の解散に伴い、第29回（平成16年度）より、児童健全育成推進財団がこの事業を継承することになりました。

1. 対象 児童の健全育成に関し、児童福祉施設（児童館、児童養護施設等）、地域組織（母親クラブ、子ども会等）、家庭相談員、里親等の活動の具体的実践報告。
2. 審査基準 活動の先駆性、普及性、社会的効果性  
地域（地域住民、各施設、行政など）との連携状況  
自己の活動への客観的検証  
文章構成における論理性  
実践記録としての価値
3. 応募について **400字詰原稿用紙換算で本文30枚（12,000字）程度 - 厳守 -**  
ワープロソフト使用の場合は、A4判縦長・横書（1ページ32字×25行）  
手書き原稿は、A4判縦長原稿用紙・横書、黒インクか黒ボールペン使用  
報告原稿には、表紙（題名・氏名<sup>フリガナ</sup>・住所・年齢・職業・連絡先の電話番号を明記）を別途添付  
締切 **平成20年11月28日(金)**  
提出先 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1 こどもの城10階  
(財)児童健全育成推進財団 數納賞 係  
電話 03-3486-5141  
応募上の注意 ・応募原稿・添付資料はお返しいたしません。  
・既に他団体の企画に応募したいいわゆる重複論文等は応募できません。  
・執筆にあたりプライバシーには充分留意下さい。  
・ワープロソフト使用の場合は、メール添付による提出も可。  
(fpsgc@jidoukan.or.jp)
4. 入賞発表 平成21年2月中旬。
5. 授賞 數納賞1編、同佳作4編。ただし、該当するものがなく見合わせる場合があります。  
入賞者には賞状と賞金（數納賞30万円、同佳作各5万円）を贈ります。  
なお、佳作に準ずると評価された報告には、選外ながら特に「奨励賞」を設け、賞状と賞金（3万円）を贈ります。
6. 発表 入賞報告は日本児童学会誌『児童研究』に掲載いたします。

【裏面もご覧ください】

7. 審査 審査委員、運営委員をそれぞれ委嘱し、運営委員の予備審査を経て、審査委員が審査する。

8. 審査委員・運営委員（敬称略）

審査委員	齋藤 晴美	厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課 児童環境づくり専門官
	橋本 英洋	秋草学園短期大学 学長、 日本医科大学 客員教授
	望月 重信	明治学院大学 教授
	吉澤 英子	大正大学 名誉教授
	眞野 章	(財)こども未来財団 理事長
	高城義太郎	(財)児童健全育成推進財団 理事長、 鎌倉女子大学 特任教授、日本児童学会 会長
	運営委員	上林 靖子
	廣瀬 英子	上智大学 准教授
	中川 一良	(社)京都市児童館学童連盟 常務理事・統括監、 聖和大学短期大学部 非常勤講師
	野中 賢治	前えひめこどもの城副園長（現アドバイザー）、 鎌倉女子大学 非常勤講師
	鈴木 一光	(財)児童健全育成推進財団 常務理事、 上智社会福祉専門学校 非常勤講師
	興津 哲哉	(財)児童健全育成推進財団 理事、 鎌倉女子大学 非常勤講師

第31回（平成18年度）入賞者実践報告（敬称略）

数納賞	児童館からの発信 難病の子と共に育った児童館の歩み 魚鱗癬を知って下さい 千葉県 三咲児童ホーム 児童厚生員 大久保まさみ
佳作	住民とコラボして楽しく！子育て支援に取り組む児童館 ～ 7小学校区子育て支援ネットワークを核とした実践事例報告 ～ 熊本県 熊本市秋津児童館 熊本市職員 大仁田伸男
佳作	「オレたち、これでいいの？」～年長児童(中学生)の自己決定に向けた取り組み～ 長野県 諏訪市児童センター 児童厚生員 田中 洋次
佳作	児童館が担う中高生活動支援における役割 ～ 夏祭り 中高生のゲームコーナーを通して ～ 京都市 塔南の園児童館 児童厚生員 降幡 亜紀
奨励賞	我が家はフォスター&ホストファミリー 京都市 自営業 北川 温子
奨励賞	児童家庭支援センターにおける地域家庭支援の取り組み ～ 虐待家庭への支援をとおして ～ 札幌市 興正子ども家庭支援センター 心理判定員 渡邊 洋平

第32回（平成19年度）入賞者実践報告（敬称略）

数納賞	（該当作品なし）		
佳作	「子どもたちの安全・地域安全」活動から協働への一步一步 地域と行政のコーディネーター役としてのNPO 北海道苫小牧市 NPO法人 イクノロー北海道 代表理事 佐藤 一美		
佳作	子育て支援でまちづくり（連携と協働の実践報告） 北海道白老町 NPO法人お助けネット 代表 中谷 通恵		
佳作	「児童会館の新しいプログラムの可能性」 - 札幌市栄西児童会館における自主制作映画の実践報告 - 札幌市東区 札幌市栄西児童会館 館長 安田 行宏		
佳作	長久手町平成こども塾の設立と今後の展開について 和歌山県九度山町 公務員 沖 義裕		
佳作	地域との有機的な連携を実現する地域組織活動（母親クラブ）の可能性 ～ 児童遊園を実現させた児童育成・万代クラブの活動を中心に～ 新潟県新潟市 児童育成・万代クラブ 安全・公園グループリーダー 丸山 健一		
奨励賞	“OPEN THE HEART , OPEN THE HOME ” ～ 家庭をなくした子どもたちに、安らぎの場を ～ 福岡市早良区 福岡市こども総合相談センター 相談員 木村 百枝		